

# 国宝松江城天守防災施設等整備事業 事業概要(史跡松江城整備検討委員会資料)

## ○事業実施の背景

- ①防火設備が30年経過し、更新時期を迎えていたこと。
- ②ノートルダム大聖堂火災(2019年4月)、首里城火災(2019年10月)を契機として、文化庁で「**世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画**」が策定され、全国的に防災施設の点検実施を要請、併せて設備の更新も推奨。

★計画期間:2020~2024(R2~6)年度(国庫補助率嵩上げ措置)※65%

## ○松江市での事業工程

- ・2020(R2)年度 整備検討委員会設置
- ・2021(R3)年度 基本計画策定
- ・2022(R4)年度 実施設計策定  
※国庫補助事業開始
- ・2023~2024(R5~6)年度  
工事施工:能美防災・シンセイ技研JV 443,663千円  
設計監理:永田設計事務所 10,890千円

★総事業費 494,568千円



## ○事業概要① (火災予防)

### ・監視カメラの更新・増設

(整備前)天守内 2箇所(附櫓、5階に監視カメラ)

天守外 2箇所(赤外線センサー)

(整備後)天守内 28箇所(うちAIセンサー付7台)

天守外 5箇所(うちAIセンサー付5台)

★管理事務所、天守受付にモニター設置



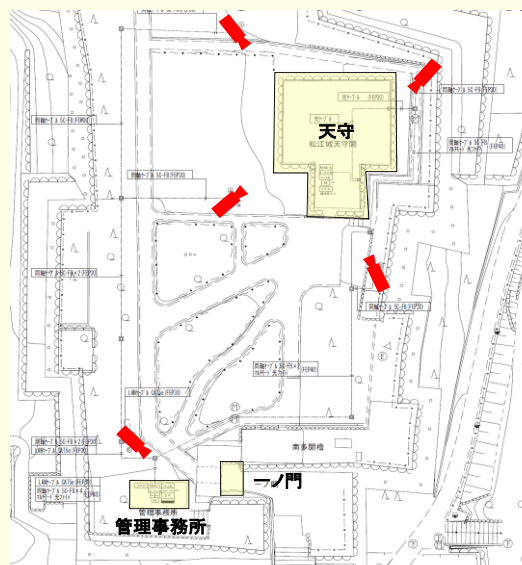
屋外カメラ



屋内ドームカメラ



液晶ディスプレイ



## ○事業概要② (早期発見・通報 その1)

### ・火災感知器の更新および増設

(整備前) 天守内 煙感知器16箇所

天守外 放火センサー3箇所

(整備後) 天守内 煙感知器56箇所

炎感知器46箇所

天守外 炎感知器4箇所

※監視カメラと同位置



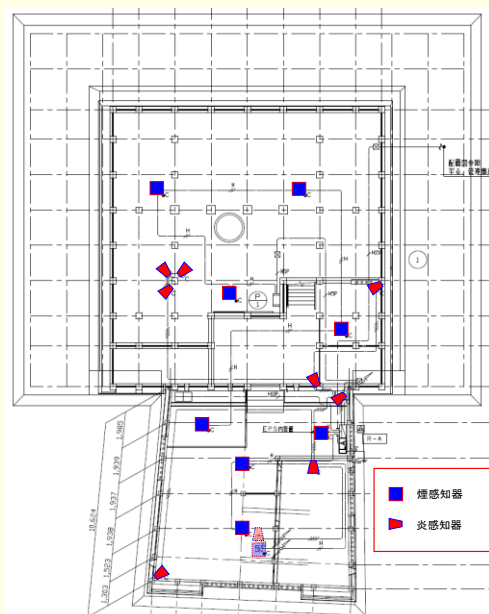
煙感知器(屋内)



炎感知器(屋内)



炎感知器(屋外)



配置図(地下1階)

### ○事業概要③（早期発見・通報 その2）

- ・**受信機の更新(管理事務所+天守受付)**  
GR型受信機に更新し、火災発生箇所をピンポイントで検知、表示する
- ・**自動火災通報装置の新設**  
自火報設備と連動して、消防署へ自動通報する



### ○事業概要④（避難誘導）

- ・**垂直降下式救助袋**  
天守1階北側窓に新設
- ・**防煙垂れ壁の新設**  
各階の階段開口部に設置する



斜行式救助袋  
(松本城事例)



1階北側設置イメージ



防煙垂れ壁(シート)



防煙垂れ壁(格子型)

### ○事業概要⑤（初期消火 屋外）

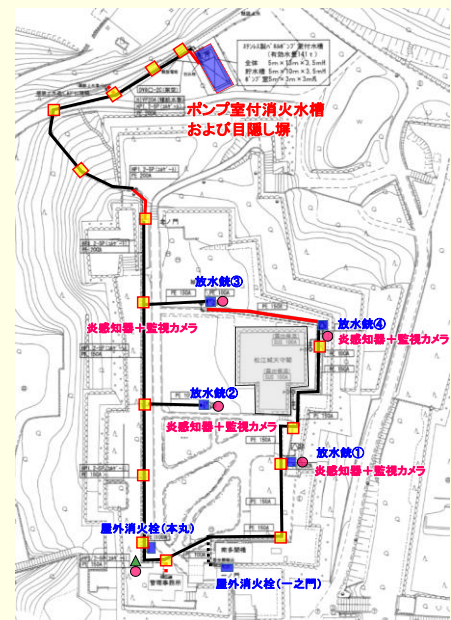
- ・**地上式消火水槽の新設**  
本丸北側に150tの貯水槽とポンプ室を新設  
※放水銃2基+屋外消火栓2基を同時に50分放水可能



ステンレス製パネルポンプ室付水槽  
茶色に塗装



ポンプ室  
内空冷ディーゼルエンジン



### ○事業概要⑥（初期消火 屋内）

- ・**放水銃4基、屋外消火栓2基、屋内消火栓6基の更新**  
※一人で操作できる易操作性消火栓
- ・**スプリンクラーを全階に増設**  
(天守)閉鎖型(乾式)SPヘッド434個  
(附櫓)開放型(手動起動式)SPヘッド23個



易操作性屋外消火栓



放水銃



SP設置状況

